

東日本大震災被災地復旧へ技術支援



小樽開発建設部長から派遣命令書の交付を受ける職員



派遣レポート



平成25年9月9日から4週間、東日本大震災により被災した福島県新地町で農地の災害復旧に係る技術支援に行っていました。

新地町の被害状況は、本町の農地980haの40%にあたる約420haが浸水により被災。農地にヘドロや瓦礫が堆積し、用排水路施設や農道が損壊しました。さらに被災農家では、田植え機等の農業機械の多くが流失しました。

このような状況のなか、北海道開発局農業水産部は、新地町に平成24年4月より継続して技術支援を行っており、災害査定から工事発注、計画変更などに従事しています。

実際、私が行った業務は、財務局、農政局の査定官に災害査定からの変更点を説明する最終計画変更図書の作成です。変更点を写真で説明するのが必須であり、写真の取纏めに大変苦慮しました。

東日本大震災から約2年7ヵ月が経過し、被害の少ない一部の地域で営農を再開しており、これらを併せて約230haの農地が復旧間近です。

しかし、被害の大きい沿岸部は未だ手つかずのままです。

新地町のみならず東日本大震災により被災した福島県の復興事業は、まだまだこれからです。内容は膨大で長期に渡る計画ですが、1日でも早く復旧、復興出来るよう、国、県など全国からの継続的な支援が必要です。



【被災した農地】



【営農再開した農地】